



日本市民スポーツ連盟・イヤールウンド®認定コース
 飯田橋、神楽坂、江戸川公園、鳩山会館
 新大塚公園、茗荷谷、礪川公園コース
 距離 12km

IVV-JAPAN → 水道橋 → 飯田橋 → 神楽河岸 → 神楽坂 (WC) → 江戸川公園 (WC) →
 (関口芭蕉庵・永青文庫・和敬塾) → 鳩山会館 → 新大塚公園 (WC) → 林泉寺 → 深光寺 →
 茗荷谷 → 礪川公園 (WC) → IVV-JAPAN (ゴール)

スタート・ゴール

日本市民スポーツ連盟・イヤラウンド®認定コース

F

飯田橋、神楽坂、江戸川公園、鳩山会館

新大塚公園、茗荷谷、礪川公園コース

距離 12km

Fコースの右回りのコース案内です。左回りをされても結構です。

IVV-JAPAN → 水道橋 → 飯田橋 → 神楽河岸 → 神楽坂 (WC) → 江戸川公園 (WC) → (関口芭蕉庵・永青文庫・和敬塾) → 鳩山会館 → 新大塚公園 (WC) → 林泉寺 → 深光寺 → 茗荷谷 → 礪川公園 (WC) → IVV-JAPAN (ゴール)

飯田橋駅

飯田橋駅は、明治28年(1885年)甲武鉄道の起点として生まれました。甲武鉄道は、新宿～立川間を22年に開通させ、23年には八王子まで延長していました。38年には飯田町～中野間に電車を走らせました。日本初の電化であり、JRの始まりであります。39年、鉄道国有法にともない甲武鉄道は国有となり、中央線となりました。中央線電車もお茶の水、昌平橋(万世橋)と延長され、45年に万世橋で中央線と山手線が連絡したのです。

新江戸川公園 細川越中守抱屋敷跡(目白台1-1-22)

目白台地の先端にあり、前面は江戸川(神田川)をへだてて早稲田田んぼが開かれた景勝の地でありました。昭和34年(1959)東京都が買収し都立の公園を設置しました。庭園内の古い集合所は「秋声閣」といい、細川家の勉強所だったところです。

神楽坂

神楽坂の名前の由来は、いくつかあります。神楽坂下の牛込見附の橋のところで祭礼の神輿をとめ、神楽を奏でたという説。津久戸明神が田安門に移ってきたとき、この坂で神楽を奏でたという説等・・・いずれにしても、祭礼の神楽と結びついた命名と思われる。

関口芭蕉庵 関口2-11-3

芭蕉はこの地で藤堂家の神田上水工事に加わり、それが縁で延宝5年(1677)から3年間ここに住みました。この間に俳人としても名も通り弟子も増え、俳諧の宗匠として独立(延宝6年)、深川に移りましたが弟子たちが「龍隠庵(りゅうげあん)」をこの場所に建てたのです。

椿山荘 関口2-10-8

「建物の蕉雨園、庭の椿山荘」と讃えられました。目白台地の斜面を巧みに取り入れた自然庭園。江戸期には、上総久留里藩の下屋敷でしたが、維新後、山形有朋の屋敷となりました。このあたり一帯に椿が咲き乱れていた為に名前がついたと思われます。三重の塔は室町末期のものです。

鳩山会館

鳩山一郎は1954年首相となり、自由党総裁として日ソ共同宣言を締結しました。遺品が飾られています。

小石川後楽園

このあたりは水戸藩屋敷跡でした。明治に入り陸軍の工場に多くさかれていましたが、水戸光圀(黄門)が残した庭園が元のまま残っています。

東京都水道歴史館と本郷給水所公園 本郷2-7

JR水道橋駅の東側にあります。江戸時代から現代に至る、東京の水道の歴史を詳しく知ることが出来ます。公園には、小石川上水(神田上水)の幹線水路の一部が復元されています。

ウォーキングマナー五ヶ条

- 1 やぁ!お早う 明るい挨拶 さわやかに
- 2 信号で、あわてず あせらず 待つ余裕
- 3 ひろがるな、参加者だけの道じゃない
- 4 自分のゴミ、自分の責任持ち帰り
- 5 歩かせて、いただく土地に感謝して



一般社団法人 日本市民スポーツ連盟

〒113-0034

東京都文京区湯島4-6-11 湯島ハイタウンA-208

Tel: 03-6240-0792 Fax: 03-6240-0793

http://ivv-jva.com e-mail: jva@ivv-japan.jp